

## 1 研究主題, 研究内容, 方法等について

### (1) 研究主題

主体的に遊びこむ子供の姿を求めて  
～ “御菌宇ならではの” という価値を見付ける～

### (2) 主題設定の理由

本園は昨年度、「遊び 学び 育つ 子供の育成～保育の充実に向けた『御菌宇カリキュラム』の開発」を研究主題とし、週日案にその日の子供の遊びとエピソードを記入し、それを基にカリキュラムを見直しながら、本園独自のカリキュラムを開発した。レーダーチャートを活用した全教職員での協議と、子供の遊びについてのカンファレンスを行い園内遊びマップを作成した。しかし、「御菌宇カリキュラム」としているものの、何が「本園ならではのカリキュラム」なのか、明確な答えを見付けることができなかった。

そこで、今年度は月案の様式から検討し、子供の遊びのつながりや流れを分かるよう改善していく。その中で、子供の遊びを長期的、総合的に考察していきながら、子供たちがしている遊びや園の環境において“御菌宇ならではの”という価値を見付けていく。

そのために「自分で選んだ遊びの時間（以下おひさまタイム）」において、研究保育を行い、子供の遊びの様子について協議をする。遊びの中で子供が何に価値を感じているのかを話し合い、子供が求めている環境構成や意図をもった教師の関わりについて探っていく。その協議を月案の書き換えに生かしながら、教育課程と照らし合わせることで、“御菌宇ならではの”の価値が見付けられると仮定する。

### (3) 研究目的

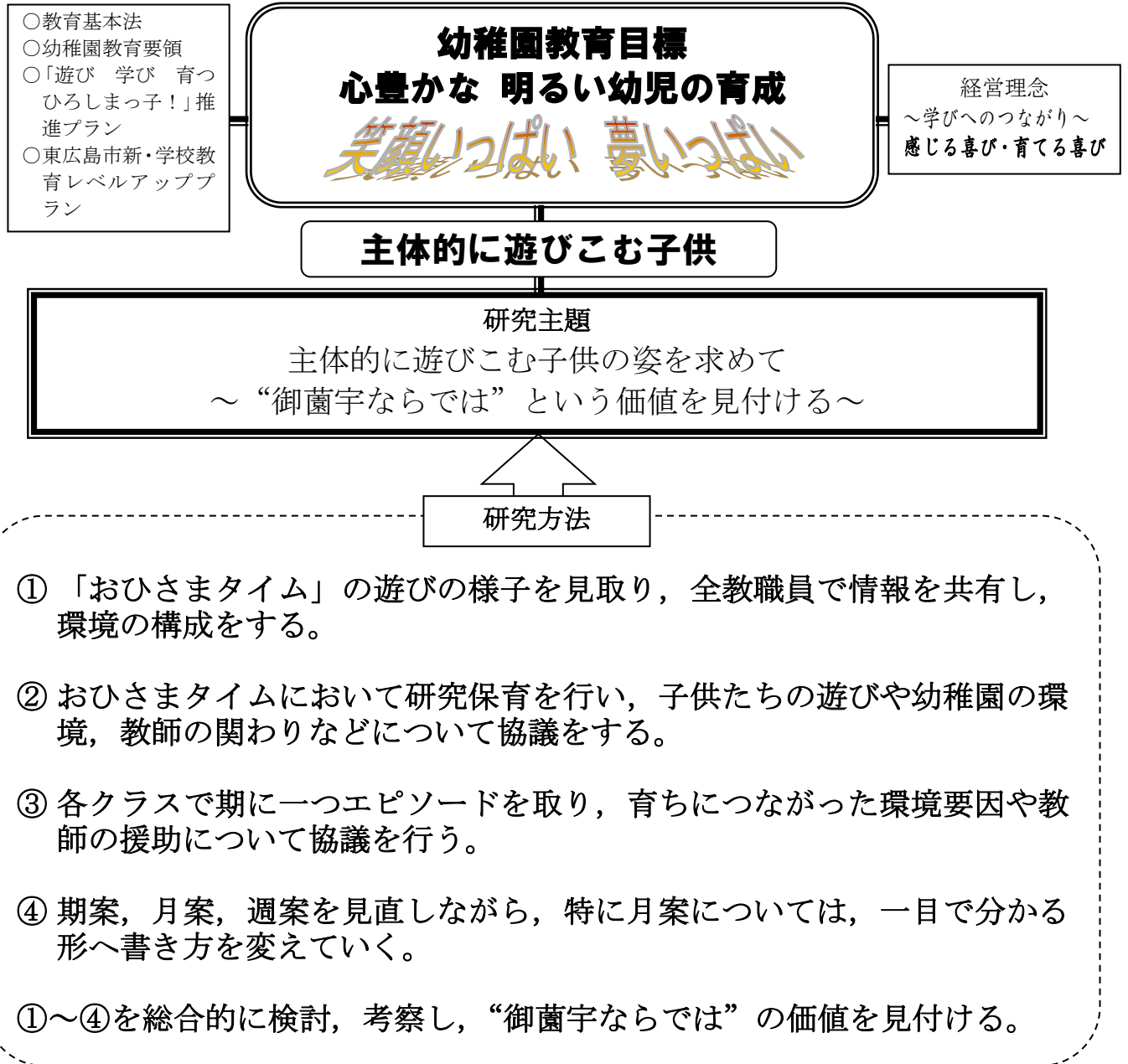
子供たちの遊びや幼稚園の環境に  
“御菌宇ならではの” という価値を見付ける。

### (4) 研究の方法

- ①毎週木曜日を「おひさまタイムの日」として、子供たちの遊びの様子を見取り、全教職員で情報を共有する。その後の遊びの展開を予想し、環境の構成をする。
- ②おひさまタイムにおいて研究保育を行い、幼稚園の環境、教師の関わり、子供がその遊びの何に価値を感じているのかなどについて協議をする。
- ③各クラスで期に一つエピソードを取り、育ちにつながった環境要因や教師の援助について協議を行う。

④期案，月案，週案と教育課程を見直ししながら，特に月案については，遊びのつながりや流れが一目で分かる形へ書き方を変えていく。

## 2 研究構想図



### 3 園内研修計画

月 日	公開保育 園内研修等	具体的な取組の内容
4月7日	園内研修	・今年度の研究内容について ・4月の子供たちの姿（予想）
4月16日	園内研修	・遊びの様子の共有，今後への環境構成
4月30日	園内研修	・4月月案見直し
5月20日	園内研修	・Ⅰ期エピソード分析
5月27日	園内研修	・Ⅰ期 研究保育，遊びの様子の協議
6月4日	園内研修	・5月月案見直し
6月25日	園内研修	・6月月案見直し
7月1日	園内研修	・Ⅱ期 研究保育，遊びの様子の協議 講師：広島大学教育学研究科 准教授 中坪 史典 先生 東広島市教育委員会指導課 指導主事 兼島 久美 先生
7月8日	園内研修	・Ⅱ期エピソード分析
7月30日	園内研修	・7月月案の見直し
8月3日	二園合同研修	・今年度の研究についての情報交換
9月24日	園内研修	・9月月案の見直し
10月21日	園内研修	・Ⅲ期 研究保育，遊びの様子の協議 講師：広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 主査 津川 典子 先生 幼児教育アドバイザー 大田 恵子 先生
10月29日	園内研修	・10月月案の見直し
12月3日	園内研修	・11月月案見直し
12月16日	園内研修	・Ⅲ期エピソード分析
12月24日	園内研修	・12月月案見直し
1月27日	園内研修	・Ⅳ期エピソード分析

1月28日	園内研修	・1月月案見直し
2月10日	園内研修	・IV期 研究保育, 遊びの様子協議, ・来年度へ向けて 講師: 広島大学教育学研究科 准教授 中坪 史典 先生
2月26日	園内研修	・2月月案見直し
3月22日	園内研修	・3月月案見直し

#### 4 研究公開の予定について

公開予定日	令和3年 1月 19日 火曜日
公開範囲	幼稚園教諭・幼保小連携担当教員・小学校体力向上推進リーダー
公開内容	幼保小研修 体力向上推進リーダー研修 【予定です!】 13:00~14:00 おわりの会でコーディネーショントレーニングの様子を公開する。